目次

はじめに

このたびは、弊社の FMV-ESPRIMO または FA パソコン（以降、パソコン本体）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、パソコン本体に搭載されている光磁気ディスクユニット（以降、本製品）の正しい操作および取り扱い方をご理解いただくために書かれています。
万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2005 年 10 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

⚠警告

・梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

・本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

・手動イジェクト治具や取り外したネジなどの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

・本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■レーザーの安全性について

本製品は、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

本製品は、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR ）Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠注意

・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。

・本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。
レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

セキュリティ機能使用上のご注意

- 本製品を接続したパソコンの電源をオフにする場合は、必ずセキュリティディスクを取り出してください。
  本製品使用時のパスワード認証状態は、本製品およびパスワード認証を行ったセキュリティディスクにより保持されます。
  パスワード認証を行った後に、セキュリティディスクを取り出して再セットした場合、およびパソコン本体の電源をオフ／オンした場合は、セキュリティディスクをアクセスする前に、再度パスワードを入力してパスワード認証を行ってください。
- ネットワーク環境に接続されたパソコンに本製品を接続し、本製品を「共有」指定して使用する場合は、本製品を接続したパソコン上でパスワード認証されたセキュリティディスクの内容は、ネットワーク上の他のパソコンからもアクセスできます。
  ただし、ネットワーク上の他のパソコンからパスワードを入力してパスワード認証を行うことはできません。
  このような環境で使用する場合は、お客様の環境に合わせてネットワーク上のセキュリティ対応をされることをお勧めします。
- 本製品を使用してセキュリティディスクに設定したディスクは、ディスクに記録されたパスワードを入力しないとアクセスできません。
  また、セキュリティディスクに設定したディスクは、非セキュリティディスクに戻すことはできません。
- ディスクや本製品の故障、および故意に本製品の内部動作を解析してパスワードを解読してアクセスした場合には、当社は本製品のセキュリティ機能を保証しません。
- 当社は本製品を使用したことにより生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を以下のように略して表記しています。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td>Windows XP</td><td rowspan="3">Windows</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 Professional</td><td>Windows 2000</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
</table>

■コマンド入力（キー入力）

CD/DVD ドライブのドライブ名を、［CD/DVD ドライブ］で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

［CD/DVD ドライブ］：¥setup.exe

商標および著作権について

Microsoft、Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

1 概要

本製品について

■特長

本製品には、次のような特長があります。
- セキュリティ機能（1.3GB 媒体へのパスワード設定機能）を標準装備しています。
- 光磁気記録方式により、何度でもデータの書き込み、消去ができます。
- 3.5 インチ媒体に最大 640MB ～ 1.3GB と大容量の情報が記録可能です。
- 回転数が 5,455/3,637rpm（128 ～ 640MB/1.3GB）と高く、USB2.0 に対応しており、高性能です。

□ 使用できるディスク

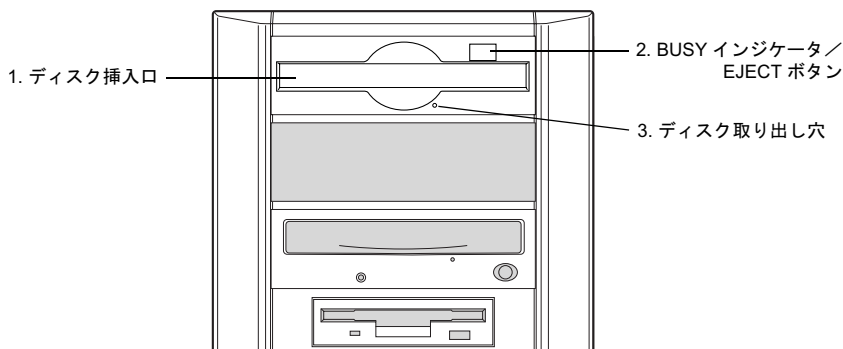
本製品では、次の直径 3.5 インチ MO ディスクが使用できます。

容量	品名	商品番号	備考
128MB	光磁気ディスクカートリッジ R128	0242110	
230MB	光磁気ディスクカートリッジ MR230	0243210	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW230	0243310	オーバーライト媒体
540MB	光磁気ディスクカートリッジ MR540	0243410	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW540	0243510	オーバーライト媒体
640MB	光磁気ディスクカートリッジ MR640	0243610	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW640	0243710	オーバーライト媒体
1.3GB	光磁気ディスクカートリッジ MR13G	0243810	

POINT

- 総記憶容量は1MB＝1000 × 1000バイト、1GB＝1000 × 1000 × 1000バイトで換算しています。
- 本製品は、オーバーライト機能に対応していません。
  オーバーライト媒体を使用した場合は、通常媒体と同等の書き込み性能となります。

各部の名称と働き

1. ディスク挿入口
2. BUSY インジケータ／EJECT ボタン
3. ディスク取り出し穴

（イラストはモデルや状況により異なります。）

1　ディスク挿入口

ここにディスクを入れます。ディスクの入れ方は、「ディスクの入れ方」（→ P.11）をご覧ください。

2　BUSY（動作中）インジケータ／EJECT ボタン

・BUSY インジケータの働き

ディスクのデータを読み取ったり、書き込んだりしているときに、緑色に点灯します。また、本製品内が規定温度以上になると、読み書きの動作に関係なく約 2 秒ごとについたり消えたりを繰り返します。

・EJECT（ディスク取り出し）ボタンの働き

本製品に入っているディスクを取り出すときに押します。
ただし、ソフトウェアでディスクのイジェクト（取り出し）が禁止されている場合は、取り出すことができません。

3　ディスク取り出し穴

万一、ディスクが通常の方法で取り出せなくなったときは、この穴に、付属の手動イジェクト治具を押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。詳しくは、「ディスクの取り出し方」（→ P.12）をご覧ください。

2 ソフトウェアのインストール

本製品を使用するには、次のソフトウェアが必要です。
- デバイスドライバ
- MO イジェクトツール
- MO Security Tool

デバイスドライバ、MO Security Tool は、パソコンご購入時にインストールされています。また、ハードディスクをご購入時の状態に戻してもインストールされます。
デバイスドライバ、MO Security Tool のみ再度インストールするには「デバイスドライバのインストール」（→ P.8）または「MO Security Tool のインストール」（→ P.10）をご覧ください。
MO イジェクトツールはパソコン購入時にはインストールされていないため、本書の手順にしたがってインストールが必要です。また、ハードディスクをご購入時の状態に戻した場合にもインストールが必要です。
インストール手順については「MO イジェクトツールのインストール」（→ P.9）をご覧ください。

デバイスドライバのインストール

ここでは、何らかの理由によりデバイスドライバのみを再インストールする場合の手順を説明します。

1. **Windows を起動し、Administrator 権限でログオンしてください。**
2. **「ドライバーディスク」をセットします。**
3. **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**
4. **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**
   [CD/DVD ドライブ]:¥other¥mo¥driver¥xp¥mosupple.msi

この後は、画面に表示されるメッセージに従って操作します。

重要

- 「リムーバブルディスク」－「プロパティ」－「ハードウェア」から FUJITSU MCP****UB USB Device を選択し、「プロパティ」－「ポリシー」のタブから「パフォーマンスのために最適化する」と「ディスクの書き込みキャッシュを有効にする」にチェックを入れてください。
- MO ディスクにアクセス中やフォーマット中に Windows をシャットダウンしたり、パソコン本体をサスペンドさせたりしないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- Windows標準の設定では、Administrator権限以外ではMOディスクのフォーマットや取り出しはできません。
  ユーザー権限でも MO ディスクのフォーマットや取り出しを行いたい場合は、次の操作を行ってください。
  1. Administrator 権限でログオンします。
  2. 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「ローカルセキュリティポリシー」を起動します。

3. 「ローカルポリシー」→「セキュリティオプション」→「デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する」の設定を、「Administrators」から「Administrators and Interactive Users」に変更してください。

Windows の再起動をせずに設定変更をした場合、その設定が反映されないことがあります。その場合は Windows の再起動をしてください。

- NTFS フォーマットはできるだけ使用しないことをお勧めします。
  次のような不具合があります。
  - ・ライトプロテクトされた NTFS にフォーマットされた MO ディスクにはアクセスできません。
  - ・NTFSにフォーマットされたMOディスクは、本製品のイジェクトボタンでは取り出せません。ドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックして取り出してください。
  - ・Windows XP で NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、Windows NT4.0 では使用できません。

MO イジェクトツールのインストール

MO イジェクトツールは Windows が次の状態に移行するときに、自動でディスクを排出させるツールです。セキュリティメディア使用時のトラブルや、ディスクの排出忘れなどを回避するためにも、インストールし、自動排出することをお勧めします。

・ディスクを排出する条件
　再起動・終了・ログオフ・スタンバイ・休止状態・ユーザー（アクセス権限）の切り替え

1 **「ドライバーズディスク」をセットします。**

2 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**

3 **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

```
[CD/DVDドライブ]:¥other¥mo¥eject¥2k_xp¥setup.exe
```

この後は、画面に表示されるメッセージに従って操作します。
「MO イジェクトツール」の機能および詳細については、「ドライバーズディスク」の「¥other¥mo¥eject¥2k_xp¥readme.txt」をご覧ください。

POINT

- フォーマットされていないディスクや、セキュリティロックがかかっているディスクなど、通常のアクセスができない MO ディスクを入れたまま MO イジェクトツールを使用すると、アクセス不可によりエラーになることがあります。この場合は、手動で「取り出し」を行ってください。
- 他のアプリケーションがMO内部のファイルを使用しているときに、MOイジェクトツールを使用した場合にもエラーになることがあります。この場合は、他のアプリケーションを終了してから手動で取り出すか、Windows の再起動を行ってください。

MO Security Tool のインストール

MO Security Tool はディスクに対してパスワードによるアクセス制限をかけるものです。
ご使用になる際は、「ドライバーズディスク」の「¥other¥mo¥security¥security.pdf」をよくお読みになり、理解されたうえでご使用ください。
ここでは、何らかの理由により MO Security Tool のみを再インストールする場合の手順を説明します。

＊セキュリティ機能に対応している製品は、FMC-PDW6 です。

1. **「ドライバーズディスク」をセットします。**
2. **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。**
3. **「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。**

   [CD/DVD ドライブ]:¥other¥mo¥security¥xp¥setup.exe

この後は、画面に表示されるメッセージに従って操作します。
「MO Security Tool」の機能および詳細については、「MO Security Tool」のヘルプ画面および「ドライバーズディスク」の「¥other¥mo¥security¥security.pdf」をご覧ください。

3 使い方

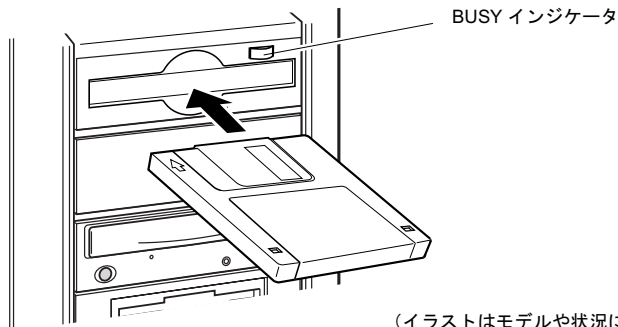
重要

- 本製品は、デスクトップ画面の通知領域に表示された緑色の矢印のアイコンから、「ハードウェアの取り外し」指示ができます。「ハードウェアの取り外し」指示をしてしまうと、OS 上で本製品が使用できなくなります。
  「ハードウェアの取り外し」指示をしてしまった場合、本製品を使用できるようにするには、パソコンの再起動または電源再投入を行ってください。

ディスクの入れ方

1 パソコン本体を起動します。

起動のしかたは、パソコン本体に添付の『取扱説明書』をご覧ください。

2 矢印のついた面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。

BUSY インジケータ

（イラストはモデルや状況により異なります。）

3 ソフトウェアを使って、ディスク上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。

読み取り、書き込み中は、BUSY インジケータが点灯します。

POINT

- 本製品はパワーセーブ機能をもっており、約 30 分間アクセスがない場合、ディスクの回転を停止させています。
  したがって、その後の最初のアクセスに対しては、ディスクの回転立ち上げ（約 8 ～ 12 秒）のために、応答までの時間が長くなります。

ディスクの取り出し方

ディスクは次のどちらかの方法で取り出すことができます。

1 **Windows 上で MO ドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューの「取り出し」を実行する**

2 **光磁気ディスクユニットの前面にある「EJECT ボタン」を押す**

Windows 起動状態でディスクを取り出すときは、トラブルを避けるためにも 1 の方法で取り出すことをお勧めします。

POINT

- ディスクのデータの読み取り、書き込みにより BUSY インジケータが点灯している間は、ディスクを取り出さないでください。点灯している間に取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。
- 本製品はディスクを取り出すときに、ディスクを先端から約 2cm 引き出した位置で、引き出す力が強く必要になることがあります。
  これはディスクイジェクト動作時に、ディスクが本製品から飛び出してしまうのを防ぐための動作であり、故障ではありません。
- 本製品を固定ディスクとして使用する場合は、パソコンの操作中はディスクを取り出さないでください。パソコンの操作中にディスクを取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。

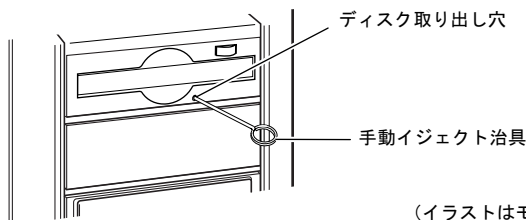
■ディスクが取り出せない場合は

次のような場合は、EJECT ボタンを押してもディスクが取り出せないことがあります。

- ソフトウェアでディスクのイジェクトが無効に設定されているとき
- 本製品が故障したとき
- パソコン本体にトラブルが生じたとき
- 停電などでパソコン本体の電源が入らないとき

この場合は、次のようにしてディスクを取り出します。

1 **パソコン本体の電源を切ります。**

2 **付属の手動イジェクト治具を、ディスク取り出し穴にまっすぐに押し込みます。**

（イラストはモデルや状況により異なります。）

4 取り扱いについて

本製品の取り扱い

■万一の故障を防ぐために

□ 衝撃・振動を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると、故障することがあります。

□ 設置場所

次のような場所で、使用したり保管したりしないでください。
- 湿気の多い所や乾燥している所
- 極度に高温や低温な所
- 直射日光の当たる所
- 温度変化の激しい所
- ほこりの多い所
- 激しい振動のある所
- 不安定な所

また、保管する場合は、プリント基板面を上に向けてください。

□ 通風

本製品内部の温度上昇を防ぐため、動作中に布などで包んだり、空気の流通の悪いところに置いたりしないでください。本製品内部が高温になると、動作しなくなる場合があります。

□ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げたりしたときは、本製品内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1 時間以上待ってからお使いください。結露が起きたままディスクを入れると、本製品やディスクが損傷することがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにディスクを取り出してください。

□ ディスクを入れたまま移動しないでください

使わないときは、ディスクを必ず取り出しておいてください。ディスクを入れたまま、パソコン本体を持ち運んだりしないでください。
また、使用中は、ディスクが高速で回転しています。このとき、本製品を動かすと動作が不安定になったり、ディスクを傷つけたりするおそれがあります。ディスクを取り出してから、移動してください。

□ 異常がおきたら

万一、異常や不具合が生じた場合は、パソコン本体の電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、ご購入元または「富士通ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。
「富士通ハードウェア修理相談センター」の連絡先は、パソコン本体に添付の『取扱説明書』をご覧ください。

■その他ご注意いただきたいこと

□ 雑音電波について

本製品は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

□ 前面パネルが汚れたら

前面パネルの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。アルコール／シンナー／殺虫剤など、揮発性の溶液剤は使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

□ 長時間連続で使用する場合の寿命について

本製品には、有寿命部品（モーターなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

□ 高温環境で使用する場合について

本製品を搭載したパソコンを高温環境で使用する場合、大切なデータを失わないために本製品の温度センサが働き、動作が遅くなることがあります。

ディスクの取り扱い

■取り扱い上のご注意

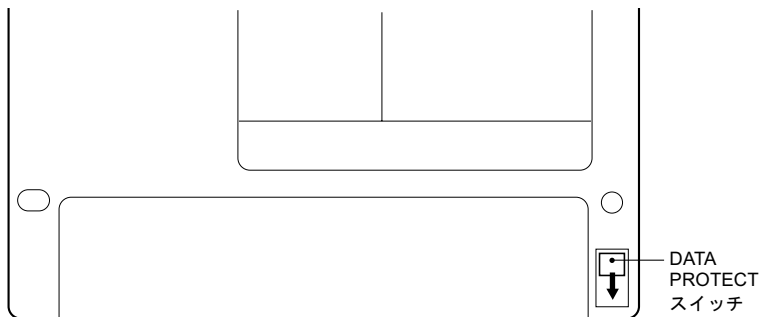
- MO ディスクに書き込み動作（コピーなど）をしているときは、画面上でファイルの転送が終わってもその後しばらくの間、MO ディスクにデータの書き込みが行われます。（本製品全面の BUSY インジケータが点灯しています）
  この場合、BUSY インジケータが点灯している間は、本製品のイジェクトボタンを押したり、取り出しメニューをクリックしたりすることは絶対にしないでください。書き込みデータが保証されなくなることがあります。
- ディスクに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- ディスクは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- ディスクは、本製品に挿入すると、自動的にシャッタが開く自動装填式です。ディスクのシャッタを手で開けて、内部に触れないでください。
- 温度差の激しい所や湿気の多い所では使わないでください。結露が起こって、データの書き込み・読み取りができなくなる場合があります。
- 必要以上に、ディスクを本製品に出し入れしないでください。
- ディスクのラベルは、端がはがれないように貼ってください。また、ラベルを重ねて貼らないでください。本製品から取り出せなくなる原因になります。
- 使い終わったら、必ず本製品からディスクを取り出しておいてください。また、持ち運ぶときには必ずケースに入れてください。

□ ディスクの保管について

・ディスクは、ケースに入れて保管してください。
・自動車のダッシュボードやトレーは高温になることがありますので、ディスクを絶対に放置しないでください。
・次のような場所に保管しないでください。
- ほこりやちりの多い所
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近く
- 湿気の多い所

□ ディスクのデータを守るために

ディスクには、ディスクのデータを誤って消したり、不要なデータを書き込んだりするのを防ぐための DATA PROTECT スイッチ（黒いつまみ）がついています。このスイッチを矢印の方向（下）にスライドさせておくとディスクのデータを読み出すことはできますが、書き込むことができなくなります。スイッチを元に戻すと、再び書き込むことができるようになります。
書き込む必要のないディスクは、スイッチを矢印方向にスライドさせておいてください。

DATA
PROTECT
スイッチ

クリーニングについて

POINT

- レンズおよびディスクのクリーニングを定期的に行ってください。データを正常に読み書きできなくなることがあります。

■ レンズのクリーニング

本製品は、データを書き込んだり、読み取ったりするために、光学レンズを使用しています。レンズがほこりやごみなどで汚れていると、正常なデータの書き込み・読み取りができない場合があります。このようなことを防ぐために、ヘッドクリーナで定期的にクリーニングを行う必要があります。本製品の性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングしてください。

□ 使用できるヘッドクリーナ

光磁気ディスククリーニングカートリッジ（サプライ商品番号：0240470）（別売）をお使いください。クリーニングのしかたは、クリーニングカートリッジの使用説明をご覧ください。

■ ディスクのクリーニング

ディスクを長い間使用すると、ディスク上にほこりや汚れが付着し、データを正常に読み書きできなくなる場合があります。このようなことを防ぐために、ディスククリーニングキットでクリーニングを行う必要があります。
ディスクの性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングしてください。

□ 使用できるクリーニングキット

光ディスククリーニングキット（サプライ商品番号：0632440）（別売）をお使いください。
クリーニングのしかたは、クリーニングキットに付属の使用説明書をご覧ください。

5 付録

主な仕様

POINT

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- フォーマット時の容量を1MB＝1000 × 1000バイト、1GB=1000 × 1000 × 1000バイトで換算しています。

項目	仕様				
記憶媒体	128MB	230MB	540MB	640MB	1.3GB[注]
セクタ容量	512bytes			2048bytes	
回転制御方式	CAV	ZCAV			
回転数	5,455rpm				3,637rpm
平均回転待ち時間	5.5msec				8.2msec
平均シーク時間	23msec				
Buffer 容量	約 2MB				
ロード時間	8sec				12sec
アンロード時間	4sec				
最大転送速度	480Mbps				
インタフェース	USB2.0				

注：光磁気ディスクユニット -1.3GB（セキュリティ対応／ USB）のみ

・フォーマット時の容量を1MB＝1000×1000バイト、1GB=1000×1000×1000バイトで換算
・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

FMV シリーズ
光磁気ディスクユニットをお使いになる方へ

B6FH-8101-01 Z2-00

発 行 日　2005 年 10 月
発行責任　富士通株式会社